

沼田市議会9月議会報告

沼田市議会9月定例会は9月7日から始まり、09（H21）年度の決算審査委員会が、22日に終了しました。審査の中で浮き彫りになった「問題点」を報告します。

進まぬ街中再生 空地は当分解消せず！

10年前に始った「中心市街地区画整理事業は、当初計画では最終段階に入っているはずでしたが、事業進捗は遅れに遅れ、09年度で仮換地率は10.1%までしか進んでいませんでした。この遅れの大きな理由は、関係住民の事前同意をとらずに事業を始めたことでした。



空地が広がった上之町1街区

今年度になって、上之町での仮換地が進んで、全体の28.1%になりました。1街区（上之町の本町通り北側）は建物の取り壊しを行ないましたが、計画していた「しょくにんの町」などが計画通りに進まずに店舗の再建は、3年後以降になりそうで、当分の間空地のままがつづきそうです。

グリーンベル21も衰退一途



キーテナントの「Aコープ」が撤退したグリーンベル21では、その後もテナントの撤退が相次いでいます。最大の権利者だった三井生命は、その権利を「メドティックインベストメント」Aと同Bという2社に譲渡しました。それらの会社の幹部は、都市開発（株）や市にもあいさつに訪れていますが、空きフロアーだらけとなったグリーンベル21を

どうするかという話はまだないようです。また、この2社の資本金は、それぞれ10万円といわれています。4,000万円の市固定資産税がこの先どうなるのか、店舗の再生は出来るのか、まったく不透明です。

もっと安心して働けるように！

子育て支援を先進自治体に見習って

保育園の待機児童は09年度も20人を超えていました。入所できている園児でも、多くの保育園が、定員の10～20%増の中で保育が行なわれています。働く親が安心して子どもを保育園に入所できるように保育園の増設がどうしても必要です。

保育料も、県内の多くの市で少子化対策として、無条件で2子は半額、3子以上は無料になっていますが、沼田市では、すべての子が保育園に入園しているときだけという条件付きです。

また、この厳しい経済化にもかかわらず、09年度には学校給食費の値上げもしました。いま全国では子育て支援として、給食費を無料にする自治体が増えています。県内では2自治体を実施しています。

防犯灯補助金一律カットつづく

市内全域で市民の安全を守っている「防犯灯」。本市ではその電気料は地元の町が負担し、沼田市が補助しています。3年前まではその補助率は50%でしたが、行財政改革とあって、2年前から45%に引下げられています。市の補助金が減れば、その分は町民が負担しなければなりません。前橋市では、市民の安全を守るための防犯灯電気料は、市が全額負担しています。これが当然ではないでしょうか。



市民の安全を守る防犯灯

各学校で大運動会



北小学校の徒競走



沼中1年生の綱引き

青空の下、市内各学校で運動会や体育祭が行なわれました。

2010年9月26日 No.532

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料